

アピカホールから  
あなたに

# ポナンタゴン

Vol.103

2022.1月-3月

2/20 (日)

～中安修也&大西隆弘～  
ピアノ ジョイント リサイタル

2/5 (土)

第150回しばざくらコンサート  
～中村翔太郎とN響のステキな仲間たち～  
真冬の熱いクラシック

第150回

しばざくらコンサート

～中村翔太郎とN響のステキな仲間たち～  
「真冬の熱いクラシック」

二月五日開催

■寄稿 中村翔太郎

～中安修也&大西隆弘～  
ピアノ ジョイント リサイタル

二月二十日開催

■寄稿 大西 隆弘

ありがとう25周年

新・おんがく談義

■寄稿 岡本 芳雄

音楽の話・輪・和・Wa

音楽教室にとってのアピカホール

西脇市立音楽ホール

Apika  
アピカホール

2月5日(土) 14時開演 (13時開場)

アピカホール開館25周年記念事業 第150回しばざくらコンサート  
～中村翔太郎とN響のステキな仲間たち～  
真冬の熱いクラシック

NHK交響楽団首席代行ヴィオラ奏者 中村翔太郎

ポナンタゴンをご覧のみなさま、こんにちは！NHK交響楽団ヴィオラ奏者の中村翔太郎です。昨年は10年ぶりにアピカホールで演奏させていただくことができ、とても嬉しかったです。メインで演奏したドホナーニのピアノ五重奏は演奏頻度が少なく、とても貴重な機会でしたが、ご来場いただいたお客さまにもお楽しみいただけたのではないのでしょうか。

まずは最近のN響のことを少しお話ししたいと思います。ようやく東京での演奏会も通常通り開催されるようになりました。緊急事態宣言が明け、10月16日、17日の公演では超満員のお客さまの前で演奏することができました。「ああ、やっとコンサートホールにお客さまが戻ってこられた。」とそれは感慨深いものでした。(前後左右一席空けのゆったり感が無くなったことは少し残念(笑)。)指揮者はブロムシュテットさん、なんと94歳。練習が始まるまでコロナ禍で体調が弱っておられるのではないかと考えていましたが、そんな心配は無用でした。「Good morning!!」と変わらず元気な挨拶からリハーサルが始まりました。そして、リハーサルから本番まで一度も椅子に座られず大きなジェスチャーと歌で私たちに音楽を教えてくださいました。最後の公演後にはオケに向かって「See you next year!!」と言い、日本を飛び立って行か

れました。

さあ、今回は弦楽三重奏の編成でお届けします。メンバーは大宮臨太郎さん(ヴァイオリン)、宮坂拓志さん(チェロ)、中村翔太郎(ヴィオラ)です。それぞれの楽器の音色がシンプルに分かりやすく聴こえてくる編成だと思います。弦楽四重奏だとファーストヴァイオリンがメロディ、セカンドヴァイオリンとヴィオラは刻み(内声)、チェロが通奏低音を主な役割としますが、弦楽三重奏はメロディも伴奏も全て回ってきます。そう、ヴィオラにもメロディがあるのです!(笑)ヴィオラはよく“地味で目立たない”という印象を持たれますが、この演奏会を聴いたらその概念がガラッと変わると思います。前半はドホナーニ：弦楽三重奏のためのセレナーデ 八長調 作品10を演奏します。ピアノ五重奏が作品1ですからまだ若いときの作品です。全部で5楽章ありますが、個人的に好きなのは第2楽章のロマンスです。ヴァイオリンとチェロのピッチカートの上でヴィオラが朗々と奏でます。雨の中、室内でゆったりする気分を感じるのではないのでしょうか。第3楽章のスケルツォはまるで嵐のような圧巻の迫力を感じることができます。是非みなさんもイメージをもって聴いていただけたら嬉しいです。メインはJ.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲



宮坂 拓志  
(チェロ)



大宮臨太郎  
(ヴァイオリン)



中村翔太郎  
(ヴィオラ)

©Ayane Shindo

です。なんとこの一曲で約一時間もある大曲です！アリアで始まり、30の変奏曲があり、アリアに戻ってきて終わります。原曲はチェンパロのために作られましたが、今回はヴァイオリニストであるシトコヴェツキーさんの編曲で演奏します。ところで、読者のみなさまはクラシックの演奏会で寝てはいけないと思いませんか？それは間違いでクラシックを聴きながら寝てしまう＝脳がリラックス

している証拠なのです。とても素敵な時間を過ごしていると思います。何故このように書いたかということ、実はこの曲、不眠で悩む伯爵の依頼によって作曲されたのです。そう聞くと安心して演奏会に臨めそうですね。私たち奏者も眠くならないように気をつけたいと思います。

それでは会場でお会いできるのを楽しみにしています！

- プログラム**
- ♪ J.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲  
(ドミトリ・シトコヴェツキーによる弦楽三重奏編曲版)  
J.S.Bach : Goldberg Variations BWV 988
  - ♪ E.ドホナーニ：弦楽三重奏のためのセレナーデ 八長調 Op.10  
E.Dohnányi : Serenade for String Trio in C major Op.10
  - ♪ L.v.Beethoven : Serenade for String Trio in D major Op.8 他

～中村翔太郎とN響のステキな仲間たち～  
真冬の熱いクラシック Vol.11

【と き】 2月6日(日) 14時開演 (13時開場)

【と ころ】 三田市総合文化センター郷の音ホール小ホール  
こちらのチケットもアピカホールで販売しています。

2月20日(日) 14時開演 (13時30分開場)

アピカホール開館25周年記念事業

## ～中安修也&大西隆弘～ ピアノ ジョイント リサイタル

ピアノ 大西 隆弘

この度、中安修也氏とともに「ピアノ ジョイント リサイタル」を開催させていただくことになりました。2020年12月にStella Apikaの第3回目のコンサートにもこの2人で出演させていただいており、私たちにとってはアピカホールで2度目の共演となります。

今回は、中安氏がドビュッシー作曲『喜びの島』とショパン作曲『プレリュード』を、大西がベートーヴェン作曲『ピアノソナタ第14番「月光」』とシューベルト作曲『ピアノソナタ第13番』を演奏し、連弾で中田喜直作曲『日本の四季』を演奏します。色彩に溢れ、官能的な魅力を持つ『喜びの島』、それまでの大作曲家たちが築き上げてきた“ソナタ”という様式を発展させようとしてベートーヴェンが取り組んだ異色の形式をもつ「月光」、激しい感情をむき出しにするような曲や甘美なメロディーをもつ曲など、ショパンの魅力がぎっしり詰まった『プレリュード』、古典的な形式の中でロマンティックな旋律を奏でるシューベルトなど、さまざまな作曲家の音世界を存分にお楽しみいただければと思います。

また、連弾では日本の作曲家、中田喜直を取りあげます。この曲は、日本人に馴染み深い歌曲や唱歌の旋律が随所に盛り込まれてお

り、日本の四季の移り変わりが見事に描かれています。連弾はソロでの演奏よりも幅広くダイナミックな表現が可能です。四季折々の景色が目浮かぶような演奏を目指したいと思っています。

また、このプログラムは二人にとっての「挑戦」です。我々演奏家は、常に「挑戦」を続けることが重要であると考えています。中安氏は、前はラヴェルの楽曲を演奏しており、同じフランスの作曲家ではありますが今回はドビュッシーに挑戦です。またひと味違ったフランスの香りを感じていただけるものと思います。私は学生時代に実技試験で演奏した「月光」に再挑戦です。約20年ぶりに改めて楽譜を見ると新たな発見がたくさんあり、新鮮な気持ちで練習に取り組んでいます。またショパンやシューベルトの優美な旋律をピアノでどのように歌うのか、私たちの挑戦です。この演奏会に向けての準備を通して、我々自身もまた一歩成長できるように努力していきたいと思っています。

また、今年もアピカホールで演奏させていただく機会をいただけたことにとっても感謝しております。皆様とアピカホールでお会いできることを楽しみにしております。

- プログラム**
- ♪ C. Debussy : 喜びの島 (中安)
  - ♪ L.v. Beethoven : ピアノソナタ第14番嬰ハ短調 作品27-2 「月光」 (大西)
  - ♪ 中田喜直 : 「日本の四季」より (連弾 中安・大西)
  - ♪ F. Schubert : ピアノソナタ第13番 イ長調 作品120 D664 (大西)
  - ♪ F. Chopin : プレリュード 作品28 (中安)

曲目は都合により変更する場合がございます。

### 中安 修也 プロフィール

兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、愛知県立芸術大学音楽学部器楽専攻ピアノコースを卒業。桐朋学園大学院大学音楽研究科演奏研究専攻を修了。第15回兵庫県学生ピアノコンクールD部門奨励賞、併せて兵庫県教育委員会賞受賞。第17回兵庫県学生ピアノコンクールE部門最優秀賞、併せて兵庫県知事賞、NHK神戸放送局長賞受賞。第12回神戸新人音楽コンクールピアノ部門優秀賞。第38回飯塚新人音楽コンクールピアノ部門入選。桐朋アカデミー・オーケストラ(指揮: 円光寺雅彦)と協演。現在、播磨南高等学校教諭。



### 大西 隆弘 プロフィール

大阪音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。同大学院音楽研究科器楽専攻ピアノソロ研究室修了。日本ピアノ教育連盟オーディション奨励賞、和歌山音楽コンクール優秀伴奏者賞受賞。佐藤功太郎氏指揮、ザ・カレッジオペラハウス管弦楽団、延原武春氏指揮、テレマン室内管弦楽団と協演。ジョイントリサイタルの開催や室内楽の演奏会等、多数の演奏会に出演。現在、湊川短期大学教授、佛教大学、神戸松蔭女子学院大学非常勤講師。



アピカホールと私

ピアノ 弘中 孝

アピカホール25周年、おめでとう御座居ます。私が西脇市周辺の子供達とピアノ二重奏の演奏会を持つようになってからすでに20年が過ぎていますが、実は西脇には初めて来た訳ではなく、私が確か20才代の頃にヨシダ楽器さんの主催でリサイタルをした記憶が有ります。当時は今のこのような音楽ホールはなかったのですが、20年前に初めてアピカホールの舞台上で音を出してみた時はビックリしました。まずはその響きの良さ（一ホールの響きというのは色々設計に工夫をこらしても実際のもの出来上がって来ないとわからないというのが当時言われていた事ですー）。次に驚いたのはその時に舞台上に用意されていたスタインウェイというドイツ製のピアノの性能の良さでした。実にきれいな繊細な音で嬉しくなったのを今でもしっかり思い出します。又このピアノを最良の状態に保つために注意深く管理されていたホールの方が居られたのも忘れられません。子供達との二重奏は20年間続いていますが普通この種の催し（ホールと地域のピアノ教師が協力する）というのはもっ

と短期間しか続かないもので、私の人生の中では西脇でしか経験していません。通常音楽家、特にピアノに関係する人は他のピアニストとの交流がそれ程多くないのが実情だと思います（ピアニストという一人で仕事をするのが多い性格上、ある程度仕方のないことですが）、ここ西脇周辺のピアノ関係者はその点、実に大人が多いと感心しています。同時にその人達と良い協力関係を保っておられるホールの館長及び職員の方達に賛辞を送りたいです。又子供達について述べれば20年間で選ばれた90人強の内、ただの一人として途中で棄権した人は居なくてこれも当人はもちろん、それぞれの先生が実にしっかりとサポートしておられたと思います。この事は言うまでもなくとても素晴らしい事で難しい事でも有ります。今はコロナ禍で人が集まるのが難しい時代ですが、再度子供達が人前で演奏出来るような時代が来るのを待っています。音楽というものはオンラインでは中々真髓が伝わりづらいと思います。

弘中 孝 プロフィール

6歳からピアノを始め、東貞一、井口愛子、井口基成の諸氏に師事。桐朋学園に学ぶ。1961年第30回日本音楽コンクール第1位、特賞ならびに安宅賞を受賞。その後ヴァン・クライバーン国際コンクール入賞。シフラ国際コンクール第1位、ロン＝ティボー国際コンクール第4位入賞。1963年から65年フルブライト給費留学生としてジュリアード音楽院に留学。S.ゴロニツキー教授に師事。66年から69年マルセイユ音楽院にてP.バルビゼ氏に師事。69年より本格的な演奏活動に入り、国内外で活躍。オーケストラとの共演を始め、リサイタルや室内楽の分野でも74年結成した桐五重奏団を中心に活動を展開している。また国際コンクールの審査員や音楽祭ディレクターを務めるなど多彩な活動を続けている。2013年3月まで東京音楽大学教授。ソロCDとして「ブラームス：ピアノ作品集」、「シューマン：交響的練習曲／ブラームス：ヘンデルの主題による変奏曲とフーガ」をリリース、いずれも高い評価を得る。



アピカホールの思い出

ヴァイオリン 久保 陽子

開館25周年おめでとうございます。市民と音楽家とスタッフの皆様が一体となって作り上げられた演奏会は素晴らしい体験でした。今は世界中

が困難な状況ですが、アピカホールの未来に大きな希望と期待を抱いています。益々の発展と皆様のご健康を祈ります。

久保 陽子 プロフィール

3歳より父の手ほどきを受け、その後、折田泉、村山信吉、J.イスナールおよび斎藤秀雄の諸氏に師事。1962年桐朋女子高等学校音楽科卒業。同年チャイコフスキー国際コンクール第3位入賞。63年よりフランス政府給費留学生としてパリに留学しR.ベネデッティ、J.カルヴェに師事。66年マルセイユ音楽院ディプロマコースを卒業、同時に名誉市民のメダルを授与される。64年パガニーニ国際コンクール、65年ロン＝ティボー国際コンクールにて第2位。67年からJ.シゲティに師事。その後クルチ国際コンクール第1位。ソリストとして世界的な演奏活動をする一方、室内楽奏者としても活躍、2011年3月まで東京音楽大学教授として後進の指導にあたる。ソロCDとして『パッハ／無伴奏ヴァイオリン・ソナタとバルティータ全6曲』、『パガニーニ／24のカプリス』他をリリース、いずれも高い評価を得ている。



♪弘中孝先生とデュオでピアノ演奏してみませんか♪  
第8回「弘中孝とみんなのピアノ・デュオ・コンサート」

アピカホールでは、日本を代表するピアニスト弘中孝先生の指導を受け共演できる、夢のような企画を3年に一度開催しています。

コロナ禍で“いつも通り”にすべてが進められない状況が続いています。中でも子どもたちの成長と明るい未来を願って、開催に向けて動き始めます。

感染状況により、開催を延期もしくは中止せざるを得ないことがあるかもしれませんが、子どもたちの学ぶ機会を最大限にサポートしていきたいと考えています。

この企画を通して、アンサンブルの楽しさをぜひ体験してください。

【コンサート日】 8月21日(日)

【募集要項】

- 対象 北播磨地域在住、在勤、出身  
(西脇市、加東市、小野市、加西市、三木市、多可町)
- 子どもの部：小学1年生から高校3年生まで
- 大人の部：18歳から80歳まで
- 申込締切 3月7日(月) <必着>
- 選考会 3月21日(月・祝)
- レッスン 第1回：7月16日(土)～18日(月・祝)
- 第2回：8月19日(金)～20日(土)

☆詳しくは、アピカホールホームページより募集要項をご確認ください。

申込み・お問い合わせ ピアノ・デュオ・コンサート実行委員会（アピカホール）まで

アピカホール開館25周年に寄せて

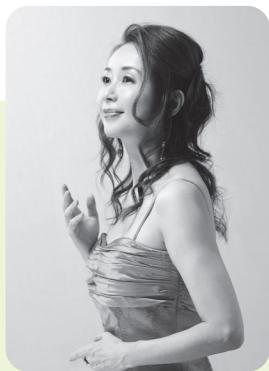
ソプラノ歌手 足立 さつき

開館25周年のお祝いを申し上げます。生まれ故郷の丹波市と、ほぼ隣接している西脇市にあるアピカホールを知ったのは、12年前のリサイタルの時でした。180席という贅沢な空間は、どの席からも見やすく聴きやすく傾斜がかかった客席と一体化できるもので、まさに音楽サロンのような会場にトキメキながら、リハーサルと本番を行いました。それから8年後、再びお呼びいただき、レクチャー講座とミニコンサートをさせていただきました。客席と近くにつながっている感覚を楽しみながら、進めることができたことを思い出します。

この2年近く、全世界の音楽界が停滞せざるを得ない状況となりました。始まりのころには、まさかこのように長い期間に及ぶとも想像できず、それまでのスケジュールと全く違った生活は、間もなく元に戻るかと考えていましたが、半年が過ぎ、予定していたコンサートの開催時期の見直しなどを迫られるなど、全てが夢のような状況となり、音楽家としての生き方までも見直しを迫られるのかとよく、やるせなさを感じつつ日々が過ぎてい

きました。そんな中でも、一部の音楽家や合唱グループは、対策を万全にして活動を続け、さらには観客数を減らしてもコンサートを行うところも出てきました。知り合いが出演または指導するコンサートに、私自身多少恐怖を感じながらも、対策を取りつつ鑑賞に出かけて行きました。コンサート会場で生の響きに身を置きながら、はっきりと感じる事ができたのです。「これは不要不急なことではなく、私たち人間に確かに必要な時間だ」と。そこには、生身の人間が奏でる音、共振共鳴があったのです。本当に幸せなことでした。

これから先も困難は出てくるでしょうけれど、私たちが、ともに響き合う喜びを求め限り、アピカホールのような「響きの美しい、サロンのようなあたたかな空間」は、人々が求める場所としてさらに必要不可欠な存在になることでしょう。館長様はじめ、スタッフの皆さまがたのご尽力に感謝しつつ、会館のさらなるご発展をお祈り申し上げます。



足立 さつき プロフィール

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。1986年第3回ニッカ椿姫新人賞第1位を受賞。1987年「椿姫」のヴィオレッタ役でオペラ・デビュー。以後、「こうもり」のアデーレ、「フィガロの結婚」のズナンナなど様々なオペラに出演。1991年よりミラノへ2年間留学。1994年と2004年にはウィーン・シュトラウス・フェスティバル・オーケストラとの全国公演にソリストとして参加し、絶賛を浴びる。東京都、丹波市、埼玉県などでの合唱指導も行う。

アピカホールの音楽教室参加者募集

初心者ヴァイオリン教室



練習日 土曜日(月3回程度)  
参加料 5,000円/月  
※教材費・楽器貸出費別途  
対象 小学1年生～中学3年生  
※北播磨地域の方  
内容 グループレッスン  
年に一度、コンサートに出演  
指導者 久保ふみ先生、山本英恵先生  
西山枝里先生、森川笑里奈先生

弦楽アンサンブル教室



練習日 土曜日(月3回程度)  
参加料 3,000円/月(教材費別途)  
対象 小学4年生～高校3年生  
※北播磨地域の方  
※鈴木ヴァイオリン教本  
1巻を修了程度  
※4年生未満の方は要相談  
内容 アンサンブルレッスン  
年に一度、コンサートを開催  
指導者 藤井允人先生、西山枝里先生  
久保ふみ先生、山本英恵先生  
森川笑里奈先生

アピカ児童合唱団



練習日 月曜日(月3回程度) 児童18:00～19:00  
混声19:30～21:00

参加料 児童 2,500円/月  
混声 3,800円/月(コンサート負担金含む)  
対象 児童 小学1年生～中学3年生  
混声 中学1年生～一般  
※西脇市、小野市、加西市、加東市、多可町在住の方または、西脇市内在学・在勤の方  
内容 発声練習、呼吸法など基礎練習 年に一度、コンサートを開催  
指導者 百合花先生 ピアノ 秋山麻子先生

混声Còroアピカ



アピカ和楽器教室

練習日 土・日・祝日(月2回程度)  
箏: 初級 9:00～10:30  
中級 10:30～12:00  
尺八: 10:00～11:30  
参加料 5,000円/月(教材費、コンサート負担金は別途)  
対象 箏: 小学1年生～大人 尺八: 小学4年生～大人  
※西脇市、小野市、加西市、加東市、多可町在住の方または、西脇市内在学・在勤の方  
内容 箏のグループレッスン/尺八のグループレッスン 年に一度、演奏会を開催  
指導者 箏: 新福かな先生 尺八: 松崎晟山先生





## ピアノ調律のはなし 5 音感と音の三要素そして音楽

ピアノ調律師 岡本 芳雄

先日人間ドックで聴力検査を受けました。耳にはヘッドフォン、手のボタンは早押しクイズさながら・・・

「プーPush!」・・・「ピーPush!」・・・

聴力検査のプーは1000Hz、ピーは4000Hz。二十歳前なら20Hz～20000Hzが聞こえるようですが、高い音からだんだんと聞こえなくなって、六十歳の私には、モスキート音(≒17000Hz)は全く聞こえません。楽器の王様とも言われる広い音域を持ったピアノの最低音は≒27Hz、最高音が≒4200Hz。聴力を維持するためには、なるべく大きな音は聞かないようにし、健康にも気を付けたいですね。(※Hz…右ページ参照ください)

音は「高さ・大きさ・音色」の3つの要素で出来ています。

「音の高さを判別」する能力として度々話題に上るのが「絶対音感」。流れてくるメロディーやハーモニーが音名と共に聴こえ、すぐにもピアノで再現出来る人がいて、本当に羨ましいです。一方、音の高低や、ある音をドとした場合のミヤソの音などが分かるのを「相対音感」と言います。「鼻歌が歌える」のも「和音を微妙にコントロールする」のも相対音感で、経験を重ねる事でどんどん精巧になっていきます。

また、人間の耳は、訓練により半音の1/1000を判断できるようになります。これが調律師の耳です。基本的に2音間の物理的な現象を判断しているので、とても具体的かつ正確です。但し、音楽を聴く時にも「微妙な音の狂いが一番気になる」という有り難くない副作用を伴います。

音感には「音の大きさの判別」も欠かせません。音の大小でリズムを構成するだけでなく、心を打つメロディーやハーモニーの演奏にも、音の大きさは緻密にコントロールされています。調律師の仕事はこれにも一役買っていて、うんと小さい音から割れるような大きい音まで、演奏家が求める音量をちょうど良く出せるようにピアノを調律・調整しています。

「音色の判断」も重要です。最近「素直に響く音色を知る」ことが最も大切だと思うようになりました。ピアノから力のある心地良い音色を引き出すために、弦を磨いたり部品の接点を磨いたりはもちろんのこと、ピアノ全体のコンディションを把握してそれぞれのパーツが互いに丁度よく機能してくれるように、日々精進しているところです。

「音の三要素」を整えるだけでもワクワクドキドキです。その上、メロディー&リズム

&ハーモニーをコントロールし、刻々と進む時間と共に音楽を紡ぎ出す演奏というのは、本当に贅沢な作業ですね。

そして、さらに贅沢なのは「音楽ホール」での演奏や鑑賞です。選りすぐりの音で構成された音楽が広い空間に満ち、最上の響きとなって心を震わせてくれます。

※Hzは1秒間の振動数を表す。NHKの時報の最初の3つは440Hz最後の長い音は880Hz。聴力検査の1000Hzはト音譜表の上にはみ出たドよりちょっと低く4000Hzはピアノの最高音あたり。

### 楽器の音域



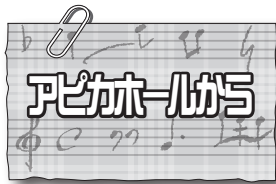
pianotuning.jp

### プロフィール 岡本 芳雄 (おかもとよしお)

小中学生の頃、時計・カメラ・オルゴールなどの分解に没頭。高校1年生ではピアノを分解する。このころから調律を独習し始め、調律の世界に強い関心をもつ。国立音楽大学別科調律専修修了後、東京ピアノ製作所・斎藤ピアノ調律所を経て、1984年故郷・西脇で独立し現在に至る。

(一社)日本ピアノ調律師協会会員、国家資格一級ピアノ調律技能士





## ♪ 出演者募集 ♪

### 第27回「アピカ・フレッシュコンサート」

このコンサートは、地元出身で音楽系大学等を卒業するみなさんの今後の活躍を期待し、支援することを目的として開催します。

**コンサート日：6月26日(日)** 午後3時開演 (予定)

**対象：**北播磨地域(西脇市、加東市、小野市、加西市、三木市、多可町)出身で、令和4年3月末に音楽系大学又は学科(短期大学を含む全てのコース)を卒業予定の方。

**参加費：**入場券30枚までの負担があります。(入場料1,000円 当日券同額)

**演奏時間：**15分程度

**申込方法：**申込書に必要事項を記入の上、写真とプロフィールを添えて郵便・メール又はご持参ください。

**申込締切：**4月3日(日)〈必着〉

**舞台進行打合せ：**締め切り後、日程を調整し開催

・出演希望者数により、開演時間及び演奏形態を相談し、調整する場合があります。

### 第26回「リトルピアニストの大きなコンサート」

世界の名器スタインウェイピアノを広く子どもたちにも弾いてもらいたいと願い、開館当初から開催しています。夏休みの思い出として出演してみませんか？

**コンサート日：8月27日(土)** 午前の部/午後の部 (申込締切後決定)

**対象：**西脇市在住又は市内でピアノを習っている幼児4歳(2018年4月生まれ)から高校生まで(令和4年4月現在)。

連弾、ピアノと声楽・管楽器・弦楽器との共演も可能。

**参加費：**無料

**参加人数：**先着70組

**申込方法：**申込書に必要事項をご記入の上、郵送又はご持参ください。(FAX可)

**申込期間：**2月6日(日)から3月6日(日) 正午〈必着〉

**説明会：**4月9日(土) 午前10時30分から

## チケット発売お知らせ

4月2日(土)

アピカホールにて  
10時より 窓口販売開始  
13時より 電話予約開始

第145回しばざくらコンサート

佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2022関連企画

歌劇『ラ・ボエーム』ハイライトコンサート～ええとこどり！

**5月15日(日) 15時開演 (予定)**

**会場／西脇市立音楽ホール「アピカホール」**

フランス・パリの街を舞台に、若き芸術家たち(ボヘミアン)の甘く切ない恋物語を描いた名作オペラ「ラ・ボエーム」の魅力、オペラ歌手の歌声とピアノの生演奏、わかりやすい解説で紹介する「ええとこどり」なコンサートです。

- ・入場料はワンコイン・**500円**(全席指定)。ご家族・お友達・お仲間同士で気軽に鑑賞。
- ・関西を代表する**プロ音楽家の生演奏**。関西弁の親しみやすい解説で**初心者も安心**。
- ・上演時間はあっという間の約100分(休憩1回) 観客参加の**お楽しみコーナー**も！



### 1階レストラン (ランチメニュー一例)

日替わりランチ(コーヒー付).....	平日限定 ¥1,100
ホリデーランチ.....	土日祝限定 ¥1,210
シェフ自慢のピラフ又はスパゲッティ(サラダ付)...	¥946
黒田庄和牛のビーフカレー(サラダ付).....	¥1,210
四季の彩り弁当.....	¥2,420
おすすめ国産牛陶板焼き膳.....	¥3,278

ボナンタゴン会員カードを入店時ご提示ください。上記お食事代金 **10%引** 優待 ※上記の料金は全て税込表記になっております。

**朝食** 6:45~9:45 (L.O.9:15)

**昼食・軽食** 11:30~14:30 (L.O.14:00)

- ・食事は14:00ラストオーダー
- ・アピカホールコンサート開催日は17:00まで喫茶対応
- ・12/24のみ喫茶対応なしになります

**ディナー** 17:30~21:30 (L.O.21:00)

### ボナンタゴン会員の皆様へ

おかげさまで  
25周年を迎えました

宴会・結納・結婚式・披露宴・食事会・パーティー  
同窓会・会議セミナー・展示会・法要 等承ります。

## 西脇ロイヤルホテル

**Daiwa House Group®**

〒677-0015 西脇市西脇991  
TEL.0795-23-2000 FAX.0795-23-8604

詳しくはオフィシャルホームページで  
▶▶▶ <http://www.nishiwaki-royalhotel.jp> 西脇ロイヤルホテル 検索

**BOSCH** ボッシュ  
Invented for life **ビルトイン食器洗い機**

予洗いなして  
しっかり洗える  
**洗浄力**

お皿から鍋まで  
まとめて洗える  
**収納力**

深夜に使用しても  
気にならない  
**静音性**

株式会社 藤田幸三商店 西脇市高松町633-18 ☎0120-165-995  
TEL.0795-23-5995 FAX.0795-23-6564

総合建設業 一級建築士事務所  
国土交通大臣認定鋼構造物製作工場  
あんしん住宅瑕疵保険届出事業者



WAIKI CONSTRUCTION CO.,LTD.

**和心建設** 株式会社

☎677-0018 西脇市富田町36  
電話 0795-22-5651(代)

西脇市  
岡之山美術館  
TEL.0795-23-6223

●アトリエ  
独自の世界を展開する美術家の個展とグループ展を開催。

- アトリエ個展シリーズ**
- VOL.1 ●「笹本しずか - Still Life -」展  
～令和4年1月16日(日)
  - VOL.2 ●「仲野壽志 - 花に祈る -」展  
1月18日(火)～2月6日(日)
  - VOL.3 ●「荒木孝典 - 記憶・記録 -」展  
2月8日(火)～27日(日)

**アトリエ企画展**  
●「西脇市美術協会」展(仮題)  
3月1日(火)～21日(月・祝)  
※アトリエ入館無料 ※各会期の最終日は午後3時まで。

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>  
ホームページにも掲載していますので、是非ご覧ください。  
ブログ「美術館日記」もご訪問ください。

●本館ギャラリー



第23回企画展  
「子午線上のアート」展  
～令和4年3月21日(月・祝)

横尾忠則デザイン  
「子午線上のアート」展ポスター

「子午線上のまち」に注目し、西脇市からは「日本のへそ」シンボルマークをデザインしたイラストレーター吉田稔美の覗き箱の作品を、明石市からは明石市の風物や、日本標準時子午線上に建つ明石市立天文科学館の時計塔を描く画家三浦信男の絵画を紹介。子午線のイメージを大切に育む個性豊かな「子午線のまち」の魅力に迫ります。

開館時間 午前10時～午後5時(入館午後4時30分まで)  
入館料 大人300円(250円)、シルバー250円(200円)、  
高・大学生200円(150円)、小・中学生100円(70円)  
※( )内20名以上の団体割引料金  
※障がい者割引有 ※ココロカード利用可  
※テラ・ドームとの共通券有  
※65歳以上の方は、年齢確認のできるものをご提示ください。  
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日・祝日の翌日)  
※年末年始(～1月3日(月))

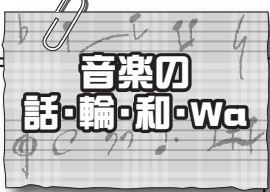
西脇市市民交流施設開館記念事業  
♪会場 西脇市市民交流施設 **Orinasホール**  
〒677-0043 西脇市下戸田128-1  
劇団四季ファミリーミュージカル  
**劇団四季** はじまりの樹の神話～こそあどの森の物語～  
1月29日(土) 14:00開演 **完売御礼**



動物たちが織りなす「音楽の絵本」の世界へ  
**2月5日(土)** 入場料(全席指定)  
13:30開演(13:00開場) 一般3,000円  
高校生以下1,000円  
プレイガイド

播磨内陸生活文化総合センター「ドウジウム」  
西脇市立音楽ホール「アピカホール」  
西脇市市民交流施設「オリナスホール」西脇市図書館

♪お問合せ 〒677-0015 西脇市西脇790-14  
播磨内陸生活文化総合センター ドウジウム内  
TEL : 0795-22-5715 E-mail : nishiwaki-cs.project@star.ocn.ne.jp



開館二十五周年おめでとうございます

吉田 秀樹  
当店は楽器を演奏するこ

とを通して一人でも多くの人に音楽の楽しさを知ってもらおうお手伝いができればと考え音楽教室を運営しています。

アピカホールは開館当初からずっとお世話になり、音楽教室にとってはなくてはならない大切な存在です。

発表会の会場として定期的にお借りします。こじんまりとしていながら程よく響くホールでフルコンサイズのピアノを弾

くことができるホールは他になく、出演者の皆さんにもたいへん好評です。楽器をうまく演奏できるようにするには日々の練習が欠かせませんが、一度アピカホールのステージで演奏した人は、十分に調整されたピアノの弾き心地と響きに魅せられ、またこのステージで演奏したいと感じます。その体験が日々の練習の励みにつながります。

また、地方にありながら国内外の一流の演奏家が訪れ極上の音楽を聴かせてくれるアピカホールは、音楽の素晴らしさを

教えてくれるとともに、楽器の演奏技術の向上にもとても役に立ちます。近頃はCDやネット配信などで簡単に好きな音楽を聴くことができますが、良い音楽を生で聴くことは録音では得られない「生の音楽の息づかい」を体感でき、オリジナルな音楽観が育まれることにつながります。

これからも音楽愛好家の道しるべとして、さまざまな演奏をお聴かせいただけるホールであることを期待しています。

(ヨシダ楽器)

編集後記

『ボナンタゴン』創刊当初から、前号まで編集後記を担当のgreenさんが10月末亡くなされました。後記を書くため、アピカホールの公演に関する情報を集めたり、演奏会に足を運んだりしていました。greenさんの明るいキャラそのものが文章にあらわれていました。

入院先からアピカホールに「今回の編集後記は書けないので、よろしく」の伝言がありました。『ボナンタゴン』が気がかりだったようです。今頃、ひと足先に逝かれた編集委員だった鶴川さんと音楽談義を、にぎやかに天国でかわされているような気がします。

今回はいつものgreenさんの編集後記に代わって、読者の皆さんに彼女の訃報をお伝えします。 編集委員

# アピカホール 催しガイド 1月～4月

休館日：毎週水曜日(祝日の場合翌日)／年末年始12/29～1/3

月/日(曜日)	催物内容	時間	入場料等	主催・問合せ	特集記事
1/10(月・祝)	アピカホール開館25周年記念事業 新春 アピカ名画座 ①「シェーン」 ②「哀愁」	①10:00～ ②14:00～	各回1,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	
1/16(日)	アピカホール開館25周年記念事業 第19回 蓄音器で味わう名曲シリーズ ～珠玉のヴァイオリン曲集～	14:00開演 (13:30開場)	500円 (駐車場代別途)	アピカホール ☎0795-23-9000	
1/29(土)	西脇市市民交流施設開館記念事業 劇団四季ファミリーミュージカル 「はじまりの樹の神話～こそあどの森の物語～」	会場:市民交流施設 オリナスホール 14:00～	完売御礼	播磨内陸生活文化総合 センター(ドウジাম) ☎0795-22-5715	P15
1/30(日)	宮崎音楽教室 発表会 vol.3	13:00～	入場無料	宮崎音楽教室 ☎080-3842-0302	
2/5(土)	アピカホール開館25周年記念 第150回しばざくらコンサート ～中村翔太郎とN響のステキな仲間たち～ 「真冬の熱いクラシック」	14:00開演 (13:00開場)	一般 3,000円 高校生以下 1,500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P2-3
2/5(土)	西脇市市民交流施設開館記念事業 親子のためのクラシックコンサート 音楽の絵本「ズラシアンプラス×弦うさぎ」	会場:市民交流施設 オリナスホール 13:30～	一般 3,000円 高校生以下 1,000円	播磨内陸生活文化総合 センター(ドウジাম) ☎0795-22-5715	P15
2/19(土)	東播第3グループI.M 式典・講演会	14:00～	関係者	西脇ロータリークラブ ☎0795-22-3901	
2/20(日)	アピカホール開館25周年記念事業 中安修也&大西隆弘 「ピアノ ジョイントリサイタル」	14:00開演 (13:30開場)	一般 1,500円 高校生以下 500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P4-5
3/19(土)	2022西脇市春のカルチャーフェスティバル	13:00～	500円 (駐車場代別途)	西脇市教育委員会生涯学習課 ☎0795-22-5996	
3/26(土)	アピカホール開館25周年記念事業 アピカホール弦楽アンサンブル教室 Apika Junior Strings 第10回コンサート	15:00開演 (14:45開場)	入場無料	アピカホール ☎0795-23-9000	
3/21(月・祝)	第8回「弘中孝とみんなの ピアノ・デュオ・コンサート」選考会 ※申込締切3月7日(月)	未定	参加料 3,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	P7
3/27(日)	くすのきリトル ピアノ コンサート	10:00～	関係者	楠 宮子	
4/10(日)	木下たままみ ピアノ教室 発表会	12:30～	関係者	木下たままみ ☎070-5344-4979	

★主催者の都合により変更になる場合があります。内容についてのご質問は、各主催者までお問い合わせください。

至多可町  
マクドナルド  
至丹波市  
西脇病院  
加古川  
西脇市役所  
焼肉店 はるやま  
至JR加古川駅  
西脇トンネル  
至中国自動車道  
滝野社インター

西脇ロイヤルホテル  
至三井住友BK  
経済センタービル  
西脇郵便局  
北はりま  
至加西市

アピカホール  
至JR西脇市駅  
至JR新西脇駅  
R175  
至JR加古川駅

### ■交通アクセス

<バス>中国ハイウェイバス西脇営業所行き  
「西脇」下車すぐ。  
三ノ宮～西脇線(神姫)「西脇」下車すぐ。  
<鉄道>JR加古川線(西脇駅)より徒歩約20分。  
<車>中国自動車道 滝野社ICより国道175号線  
を北へ約15分。

■編集：ポナンタゴン編集委員会  
■発行：西脇市立音楽ホール「アピカホール」  
ポナンタゴン：こんにちは  
(エスペラント語)

〒677-0015 兵庫県西脇市西脇991  
TEL(0795) 23-9000 FAX(0795) 23-9031  
http://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/  
E-mail : apikahall@ever.ocn.ne.jp

このガイドは2021年12月1日現在の資料を元に編集しており、内容に変更される場合があります。無断での転載を禁じます。

アピカホール ポナンタゴン

検索 ←ホームページでもご覧いただけます。